

平成28年度 補助金等実績報告書

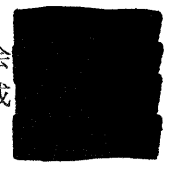
平成28年12月9日

函館市長 工藤 壽樹 様

〒041-0852
住 所 函館市鍛冶1丁目2-3

補助事業者等

団体名 函館日韓友好親善協会
代表者氏名 会長 福島 憲成



補助事業等の名称 韓国高陽市での姉妹都市交流事業

平成28年9月16日函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、平成28年12月6日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金	200,000	円
補助金等領収済額	金	200,000	円
補助金等領収未済額	金	0	円

補助事業等の実績書

名 称	韓国高陽市での姉妹都市交流事業
開 催 期 日	平成28年11月19日～23日 (高陽市滞在21日～23日)
開 催 場 所	韓国高陽市
主催者，共催者 および後援者等	函館日韓友好親善協会
参 加 人 員	14名（函館市内在住者11名，函館市外在住者3名）
補 助 事 業 等 の 内 容	姉妹都市である韓国高陽市との友好親善を促進するため，本年11月に高陽市へ当会会員等を派遣し，幼稚園や大学での交流事業のほか，市役所への表敬訪問などを行った。
補 助 事 業 等 の 実 施 に よ る 効 果	当該事業の実施により訪問した高陽市の中部大学校や育児総合支援センター等において，主に幼児教育を担当する教育関係者との間で両市における文化交流のより一層の推進が図られ，今後の市民レベルでの交流の進展に寄与することができた。
備 考	

- (注)
1. この様式は，大会等の開催その他これに類する事業等に補助金等の交付を申請し，または，これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 補助事業等の内容は，詳細に記載すること。（別紙も可）
 3. その他必要と認めた書類を添付すること。

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位:円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
自己資金	416,000	416,000	416,000	416,000	0	0	
函館市補助金	200,000	200,000	200,000	200,000	0	0	
合 計	616,000	616,000	616,000	616,000	0	0	

支出の部

(単位:円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
記念品代	0	0	0	0	0	0	
旅費	616,000	616,000	616,000	616,000	0	0	
交流経費	0	0	0	0	0	0	
合 計	616,000	616,000	616,000	616,000	0	0	

※実績報告の場合 収支差引額 0円

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。

決算額内訳一覧

(収入の部)

(単位：円)

項 目	本年度決算額		積算内訳	備 考
		うち、 補助対象事業		
自己資金	416,000	416,000	参加者負担金	
函館市補助金	200,000	200,000	函館市国際交流事業活動補助金	
合 計	616,000	616,000		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算（決算）書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

決算額内訳一覧

(支出の部)

(単位:円)

項 目	本年度決算額		積算内訳	備 考
		うち、 補助対象事業		
記念品代	0	0		
旅費	616,000	616,000	航空運賃 函館～羽田～金浦往復 @47,000×11名=517,000円 空港税・燃料サーチャージ @6,840×11名=75,240円 発券手数料 @2,160×11名=23,760円	
交流経費	0	0		
合 計	616,000	616,000		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。